

#### (4) 付加価値額（従業者数 29 人以下の事業所は粗付加価値額）

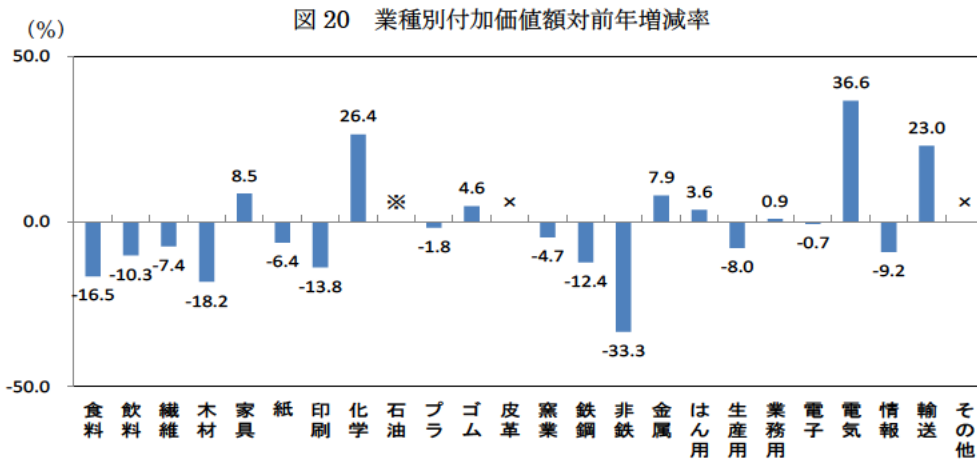
付加価値額は、2兆7,556億円（億円未満四捨五入、以下同じ。）で、平成23年と比べて2,111億円（8.3%）増加しました。

〔業種別〕

付加価値額を業種別に平成23年と比較すると、増加したのは、電気（367億円増・36.6%増）、化学（893億円増・26.4%増）、輸送（1,290億円増・23.0%増）などで、減少したのは、非鉄（271億円減・33.3%減）、木材（27億円減・18.2%減）などとなっています。（表11・図20・表14）

表 11 業種別付加価値額（万円）

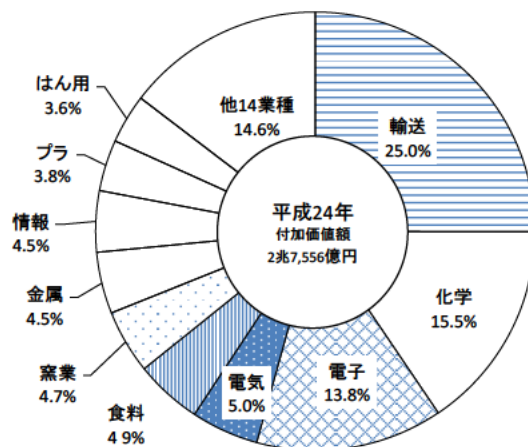
	合計	食料	飲料	繊維	木材	家具	紙	印刷	化学	石油	プラ	ゴム	
平成23年	254,457,626	16,324,213	1,981,070	1,571,867	1,457,371	1,345,113	2,425,132	1,939,576	33,793,072	-9,805,276	10,608,033	6,726,402	
平成24年	275,564,641	13,624,159	1,777,556	1,455,012	1,192,190	1,459,456	2,270,285	1,671,973	42,723,814	-5,908,555	10,412,365	7,035,569	
増減額	21,107,015	-2,700,054	-203,514	-116,855	-265,181	114,343	-154,847	-267,603	8,930,742	3,896,721	-195,668	309,167	
	皮革	窯業	鉄鋼	非鉄	金属	はん用	生産用	業務用	電子	電気	情報	輸送	その他
平成23年	x	13,625,284	3,240,580	8,142,564	11,604,420	9,652,920	9,236,996	9,025,467	38,201,861	10,018,266	13,684,355	56,082,820	x
平成24年	-	12,979,329	2,840,346	5,429,278	12,516,800	9,997,483	8,497,243	9,105,516	37,927,772	13,689,615	12,429,305	68,987,757	3,450,373
増減額	x	-645,955	-400,234	-2,713,286	912,380	344,563	-739,753	80,049	-274,089	3,671,349	-1,255,050	12,904,937	x



※については付加価値額がマイナスとなったために記載しません

構成比をみると、輸送が 25.0%（6,899 億円）と最も高く、続いて化学 15.5%（4,272 億円）、電子 13.8%（3,793 億円）、電気 5.0%（1,369 億円）、食料 4.9%（1,362 億円）などとなっています。（図 21）

図 21 業種別付加価値額構成比



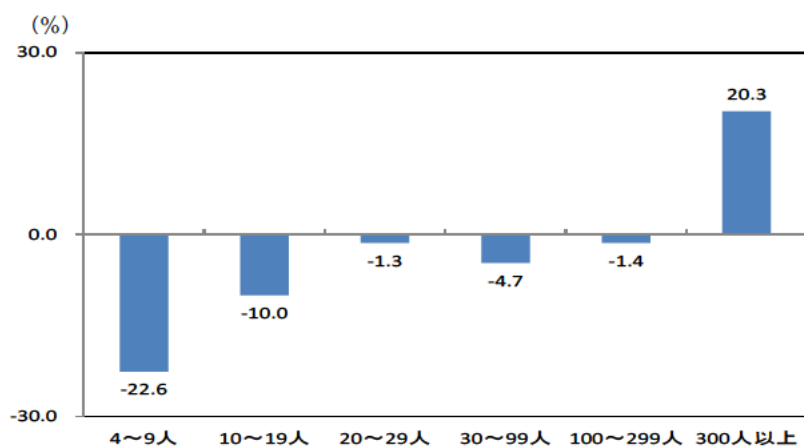
〔従業員規模別〕

付加価値額を従業員規模別に平成 23 年と比較すると、増加したのは、300 人以上規模（2,643 億円増・20.3%増）のみで、その他の規模では減少し、4～9 人規模（158 億円減・22.6%減）、10～19 人規模（101 億円減・10.0%減）、30～99 人規模（177 億円減・4.7%減）などとなっています。（表 12・図 22・表 15）

表 12 従業員規模別付加価値額（万円）

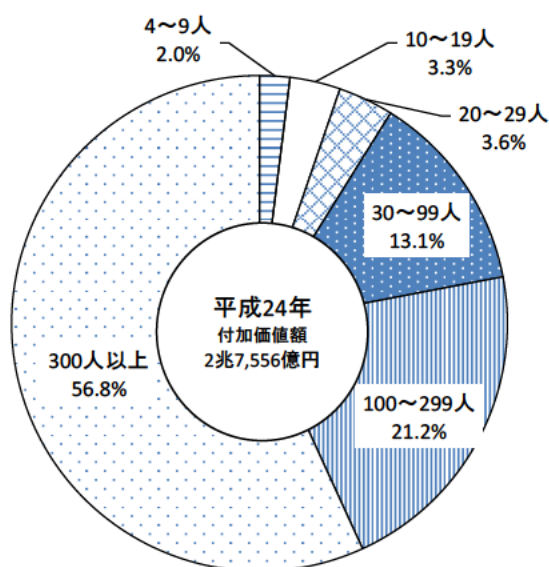
	合 計	4～9人	10～19人	20～29人	30～99人	100～299人	300人以上
平成23年	254,457,626	7,011,344	10,084,811	10,101,037	37,900,591	59,197,520	130,162,323
平成24年	275,564,641	5,427,421	9,075,645	9,965,875	36,133,975	58,370,931	156,590,794
増減額	21,107,015	-1,583,923	-1,009,166	-135,162	-1,766,616	-826,589	26,428,471

図 22 従業員規模別付加価値額対前年増減率



構成比をみると、300 人以上規模が 56.8%（1 兆 5,659 億円）と最も高く、続いて 100～299 人規模 21.2%（5,837 億円）、30～99 人規模 13.1%（3,613 億円）などとなっています。（図 23）

図 23 従業員規模別付加価値額構成比

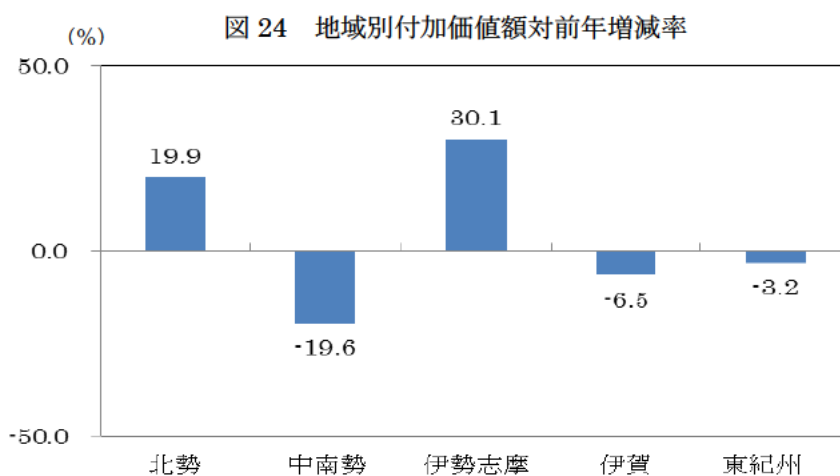


〔地域別〕

付加価値額を地域別に平成23年と比較すると、増加したのは、伊勢志摩（537億円増・30.1%増）、北勢（2,869億円増・19.9%増）で、減少したのは、中南勢（1,055億円減・19.6%減）、伊賀（231億円減・6.5%減）などとなっています。（表13・図24・表16）

表13 地域別付加価値額（万円）

	合計	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
平成23年	254,457,626	144,353,109	53,938,855	17,877,900	35,444,479	2,843,283
平成24年	275,564,641	173,038,897	43,390,748	23,252,808	33,129,706	2,752,482
増減額	21,107,015	28,685,788	-10,548,107	5,374,908	-2,314,773	-90,801



構成比をみると、北勢が62.8%（1兆7,304億円）で最も高く、続いて中南勢15.7%（4,339億円）、伊賀12.0%（3,313億円）、伊勢志摩8.4%（2,325億円）、東紀州1.0%（275億円）となっています。（図25）

図25 地域別付加価値額構成比

